

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年10月25日から2045年10月24日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数※(円ベース)のリターンを享受することを目指し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※「クロッキー米国高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法である「クロッキーモデル」に基づき米国を代表する企業の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指数です。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundおよびマネー・インベストメント・マザーファンドⅡを主要投資対象とします。
	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	担保付スワップ取引を主要投資対象とします。
	マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	年4回、1月、4月、7月および10月の各月の24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。収益分配は原則として配当等収益を中心に行います。ただし、1月の決算時において基準価額が当初元本を上回っている場合は、基準価額水準等を勘案のうえ収益分配を行います。なお、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

米国好配当リバランスオープン (年4回決算型)

第5期（決算日 2025年1月24日）

第6期（決算日 2025年4月24日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「米国好配当リバランスオープン（年4回決算型）」は、2025年4月24日に第6期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第5期～第6期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	基 準 価 額			クロッキー米国高配当株指数（円ベース）		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率				
(設定日)	円			円	%	ポイント		%		百万円
2023年10月25日	10,000		—	—	—	65,887.31		—	—	3,110
1期(2024年1月24日)	10,337		40	3.8	69,091.94	4.9	0.1	98.3		12,742
2期(2024年4月24日)	11,572		40	12.3	78,396.13	13.5	0.1	98.7		23,597
3期(2024年7月24日)	11,643		40	1.0	79,684.14	1.6	0.2	98.0		32,111
4期(2024年10月24日)	11,946		40	2.9	82,486.29	3.5	0.1	99.1		40,579
5期(2025年1月24日)	11,016		1,100	1.4	84,062.60	1.9	0.1	99.5		41,818
6期(2025年4月24日)	9,314		40	△15.1	71,769.73	△14.6	0.1	98.9		41,431

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
(注) クロッキー米国高配当株指数（円ベース）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。クロッキー米国高配当株指数（円ベース）は、当該日前営業日の現地終値です。（以下同じ。）
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

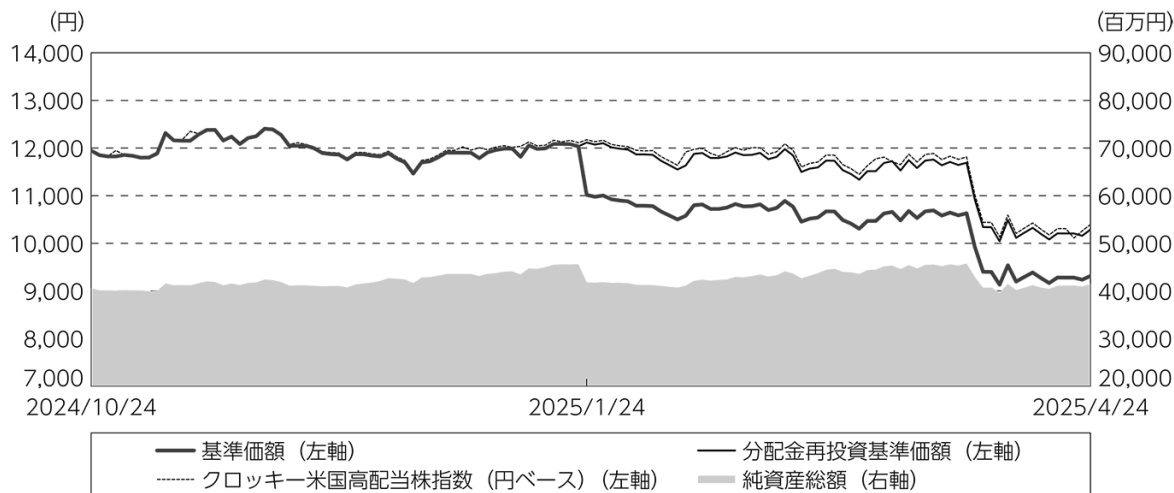
決 算 期	年 月 日	基 準	基 準 価 額		クロッキー米国高配当株指数（円ベース）		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落	率	(参考指数)	騰 落 率			
第5期	(期 首)	円		%	ポイント	%	%	%	%
	2024年10月24日	11,946	—	—	82,486.29	—	0.1	99.1	
	10月末	11,837	△ 0.9		81,754.46	△ 0.9	0.1	98.9	
	11月末	12,047	0.8		83,625.54	1.4	0.1	99.7	
	12月末	11,901	△ 0.4		82,554.53	0.1	0.1	99.8	
第6期	(期 末)								
	2025年1月24日	12,116	1.4		84,062.60	1.9	0.1	99.5	
	(期 首)								
	2025年1月24日	11,016	—		84,062.60	—	0.1	99.5	
	1月末	10,881	△ 1.2		83,057.03	△ 1.2	0.1	99.5	
	2月末	10,742	△ 2.5		82,319.86	△ 2.1	0.1	99.5	
第6期	3月末	10,582	△ 3.9		81,182.16	△ 3.4	0.1	98.9	
	(期 末)								
	2025年4月24日	9,354	△15.1		71,769.73	△14.6	0.1	98.9	

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2024年10月25日～2025年4月24日）



第5期首：11,946円

第6期末：9,314円（既払分配金（税引前）：1,140円）

騰落率：△ 13.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2024年10月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象は「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」です。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」は主としてスワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。以下は、クロッキー米国高配当株指数の主なプラス要因およびマイナス要因を記載しております。

（主なプラス要因）

- ・セクター別では、基準価額にプラスに寄与したセクターはありませんでした。
- ・個別銘柄では、コンピューターメーカーのHPや建材・建築技術を提供するジョンソン・コントロールズ・インターナショナルなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・セクター別では、エネルギーやヘルスケアなどが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、清涼飲料メーカーのキューリグ・ドクターペッパーや防衛関連企業のロッキード・マーチンなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

（2024年10月25日～2025年4月24日）

米国株式市場は、作成期初から2024年末にかけては大統領選挙と議会選挙において共和党が勝利したことを受けて、トランプ新政権による減税や規制緩和に対する期待から堅調に推移しました。2025年に入ってから、米消費者物価指数（CPI）から物価上昇圧力の緩和が示唆されたほか、新政権の通商政策は過度に強硬なものではないとの見方が広がったことから、代表的な株価指数であるS&P500指数が市場最高値を更新する場面も見られました。しかしその後は、トランプ大統領の関税における強硬発言を受けて景気配慮型の政策に対する期待が後退したことに加え、同大統領が多くの貿易相手国に対し高水準の相互関税を課す方針を打ち出したことを受けて、貿易摩擦への懸念が強まり、世界的に株式市場が急落しました。

為替（米ドル／円）は、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げペースを鈍化させるとの観測が強まる一方で日銀が追加利上げを見送ったことから、作成期初から2025年初頭にかけて上昇（米ドル高／円安）基調を辿りました。しかしその後は、米国の主要経済指標の悪化を背景に米金利が低下する一方で国内金利が上昇したことから日米金利差が縮小したほか、作成期末にかけては米国の関税政策が世界景気に及ぼす悪影響への懸念が強まり、米ドル／円は下落（米ドル安／円高）基調が鮮明となりました。

国内短期金融市場では、2025年1月の金融政策決定会合で利上げが決定されたほか、その後の追加利上げも意識されるなかで、1年国債利回りは3月にかけて大きく上昇しました。しかし、4月上旬にトランプ米政権の相互関税が発動され、日本経済に対する懸念が強まったことや日銀の早期利上げ観測が後退したことなどから、1年国債利回りは上昇幅を縮小させました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年10月25日～2025年4月24日）

<米国好配当リバランスオープン（年4回決算型）>

「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」、 「マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ」を主要投資対象とし、「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」の組入比率は高位を維持しました。

○Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

主としてスワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。なお、2025年4月24日時点のクロッキー米国高配当株指数の構成銘柄数は54銘柄、実績平均配当利回りは3.8%となりました。

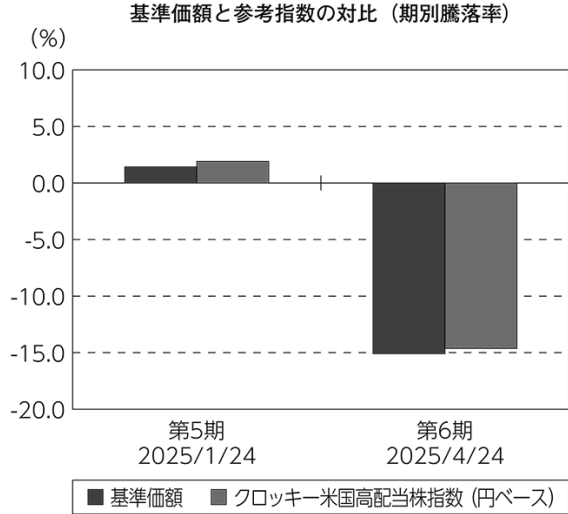
○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当作成期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年10月25日～2025年4月24日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
(注) 参考指数は、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）です。

分配金

（2024年10月25日～2025年4月24日）

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第5期	第6期
	2024年10月25日～ 2025年1月24日	2025年1月25日～ 2025年4月24日
当期分配金	1,100	40
（対基準価額比率）	9.079%	0.428%
当期の収益	162	40
当期の収益以外	937	—
翌期繰越分配対象額	1,015	854

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

米国株式市場は、不安定な動きになると想定します。関税引き上げなど、トランプ政権の政策の先行き不透明感から、市場の変動性が高まると見込まれます。また、米国景気の先行きやインフレ再燃への懸念が広がっていることから、個人消費関連指標の発表やＣＰＩの動向に市場の注目が集まると考えています。2025年後半以降は、ＦＲＢによる利下げへの期待が、株価の下支え要因になると想定します。

米ドル／円相場は、日銀の追加利上げが意識されることや米国の関税政策の不透明感などから足元では円高に振れる局面も予想されます。ただ、日銀の利上げペースが緩やかなものに留まると見られることや、日本のデジタル赤字の拡大など構造的な円売り圧力も根強く、長期的には円安基調となる可能性が高いと判断しています。

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、１年国債利回りには上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

（運用方針）

＜米国好配当リバランスオープン（年４回決算型）＞

当ファンドの主要投資対象である「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」の組入比率は高位に保つことを基本としますが、市況環境等によっては組入比率が高位に保たれない場合があります。

○Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

主としてスワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。

○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ １万口当たりの費用明細

（2024年10月25日～2025年４月24日）

項 目	第５期～第６期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 73	% 0.642	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.192)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(50)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	74	0.649	
作成期間中の平均基準価額は、11,331円です。			

（注）作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

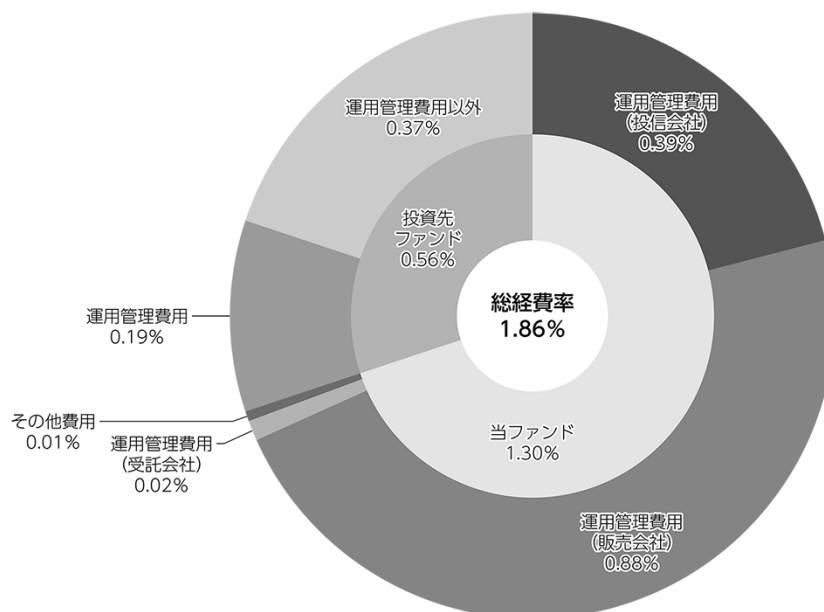
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.86
①当ファンドの費用の比率	1.30
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.37

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用において、投資先ファンドにて行われる担保付スワップ取引における指数手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年10月25日～2025年4月24日)

投資信託証券

銘柄		第5期～第6期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	口	千円	口	千円
		1,450,350	16,606,100	758,988	8,888,500

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第5期～第6期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マナー・インベストメント・マザーファンドⅡ	千口	千円	千口	千円
		30,319	30,312	33,098	33,089

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月25日～2025年4月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年4月24日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第4期末	第6期末		
		口数	口数	評価額	比率
	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	口	口	千円	%
		3,398,296	4,089,657	40,970,191	98.9
合	計	3,398,296	4,089,657	40,970,191	98.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第４期末	第６期末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	千口 54,636	千口 51,857	千円 51,914

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年４月24日現在）

項 目	第６期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 40,970,191	% 97.5
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	51,914	0.1
コール・ローン等、その他	1,004,439	2.4
投資信託財産総額	42,026,544	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第５期末	第６期末
	2025年１月24日現在	2025年４月24日現在
	円	円
(A) 資産	46,598,731,999	42,026,544,314
コール・ローン等	4,932,745,728	1,004,426,132
投資信託受益証券（評価額）	41,616,091,631	40,970,191,942
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ（評価額）	49,868,445	51,914,318
未収利息	26,195	11,922
(B) 負債	4,779,888,253	595,353,503
未払金	45,800,000	160,000,000
未払収益分配金	4,175,886,128	177,934,301
未払解約金	419,730,622	120,455,036
未払信託報酬	137,065,731	135,573,699
その他未払費用	1,405,772	1,390,467
(C) 純資産総額（A－B）	41,818,843,746	41,431,190,811
元本	37,962,601,166	44,483,575,444
次期繰越損益金	3,856,242,580	△ 3,052,384,633
(D) 受益権総口数	37,962,601,166口	44,483,575,444口
1万口当たり基準価額（C／D）	11,016円	9,314円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第６期3,052,384,633円です。

（注）計算期間末における１口当たりの純資産額は、第５期1.1016円、第６期0.9314円です。

（注）当ファンドの第５期首元本額は33,968,352,833円、第５～６期中追加設定元本額は16,858,711,414円、第５～６期中一部解約元本額は6,343,488,803円です。

○損益の状況

項 目	第5期	第6期
	2024年10月25日～ 2025年1月24日	2025年1月25日～ 2025年4月24日
	円	円
(A) 配当等収益	423,799,216	446,100,125
受取配当金	423,430,355	445,393,774
受取利息	368,861	706,351
(B) 有価証券売買損益	331,479,722	△7,157,177,082
売買益	374,831,682	148,535,621
売買損	△ 43,351,960	△7,305,712,703
(C) 信託報酬等	△ 138,471,503	△ 136,964,166
(D) 当期損益金 (A + B + C)	616,807,435	△6,848,041,123
(E) 前期繰越損益金	3,195,037,842	—
(F) 追加信託差損益金	4,220,283,431	3,973,590,791
(配当等相当額)	(3,480,993,711)	(3,671,225,729)
(売買損益相当額)	(739,289,720)	(302,365,062)
(G) 計 (D + E + F)	8,032,128,708	△2,874,450,332
(H) 収益分配金	△4,175,886,128	△ 177,934,301
次期繰越損益金 (G + H)	3,856,242,580	△3,052,384,633
追加信託差損益金	3,856,242,580	3,973,590,791
(配当等相当額)	(3,116,956,653)	(3,671,229,633)
(売買損益相当額)	(739,285,927)	(302,361,158)
分配準備積立金	—	131,255,794
繰越損益金	—	△7,157,231,218

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第5期	第6期
(a) 配当等収益(費用控除後)	346,141,948円	309,190,095円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	270,665,487円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,220,283,431円	3,671,229,633円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	3,195,037,842円	—円
分配対象収益(a+b+c+d)	8,032,128,708円	3,980,419,728円
分配対象収益(1万口当たり)	2,115円	894円
分配金額	4,175,886,128円	177,934,301円
分配金額(1万口当たり)	1,100円	40円

○分配金のお知らせ

	第5期	第6期
1万口当たり分配金（税引前）	1,100円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。	
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店	

＜お知らせ＞

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年4月1日）
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年4月24日現在）

<マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ>

下記は、マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ全体(100,991千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第6期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特殊債券 (除く金融債)	千円	千円	%	%	%	%	%
	95,000	94,997	94.0	—	—	—	94.0
	(95,000)	(94,997)	(94.0)	(—)	(—)	(—)	(94.0)
合 計	95,000	94,997	94.0	—	—	—	94.0
	(95,000)	(94,997)	(94.0)	(—)	(—)	(—)	(94.0)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第6期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円	
第4回政府保証新関西国際空港債券	0.484	10,000	10,003	2025/6/13
第243回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.391	16,000	15,999	2025/4/30
第247回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.509	13,000	13,003	2025/5/30
第254回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.44	5,000	4,999	2025/8/29
第256回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.425	15,000	14,993	2025/9/30
第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.386	5,000	4,996	2025/10/31
第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.381	10,000	9,999	2025/11/28
第74回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.557	15,000	15,007	2025/7/15
第79回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.379	6,000	5,993	2025/12/12
合 計		95,000	94,997	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

<参考情報>

Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

ファンドの形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
運用会社	IQ EQ Fund Management (Ireland) Limited
基本方針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー米国高配当株指数（以下”米国高配当株指数”といいます）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。
投資対象	担保付スワップ取引を主要投資対象とします。
投資態度	ドイツ銀行を取引相手とする担保付スワップ取引により米国高配当株指数への実質的な投資を行います。
主な投資制限	1. 原則として担保付スワップ取引を主要投資対象とします。 2. 有価証券の空売りは行いません。 3. 純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 4. 流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
運用報酬等	純資産総額に対し年率0.19%程度。 Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundの報酬には、運用会社、受託会社、管理事務代行会社への報酬が含まれます。 ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、運用会社に対し年90,000ユーロ、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。
指数手数料	年率0.50% Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundにて行われる担保付スワップ取引において、年率0.50%が指数手数料として当該スワップ取引の日々の評価額から差し引かれます。
その他費用	海外における資産の保管等に要する費用、監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

以下は、Collis Trust-CROCI US Dividend Equity Fundの監査済報告書の一部を、S B I 岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。S B I 岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

損益計算書

自 2023年10月25日 至 2024年 3月31日
(単位：円)

投資収益	
投資収益合計	—
費用	
設立費用	47,761,194
支払利息	14,083,529
運用報酬	7,132,724
専門家報酬	5,576,610
管理者報酬	5,436,919
名義書換代理人手数料	1,421,678
受託者報酬	838,974
その他費用	102,193
費用合計	82,353,821
純投資損益	△ 82,353,821
実現損益および未実現評価損益：	
純実現損益の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	19,816,080
外貨取引	△ 718,844
純実現損益	19,097,236
未実現評価損益の純増減の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	3,147,359,882
外貨取引	25,991
未実現評価損益の純増減	3,147,385,873
純実現損益および未実現評価損益	3,166,483,109
運用による純資産の純増減	3,084,129,288

投資明細表

2024年 3月31日現在

ストラクチャード商品

銘柄	国名	数量	純資産比率	公正価値
株式バスケット・スワップ取引*				
トータル・プライス・リターン・スワップ	米国	326,924	100.05%	¥ 25,355,914,862
ストラクチャード商品合計（原価 22,208,554,980円）				25,355,914,862
投資総額（費用 22,208,554,980円）			100.05%	¥ 25,355,914,862

*当ファンドは、ドイツ銀行との全額出資のパフォーマンス・スワップを通じて、株式バスケット・スワップ取引に対する想定エクスポージャーを有しています。

マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ
第2期 運用状況のご報告
決算日：2024年9月27日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日) 2022年9月21日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 12
1期(2023年9月27日)	9,994	△0.1		98.0	—	26
2期(2024年9月27日)	9,996	0.0		84.0	—	97

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

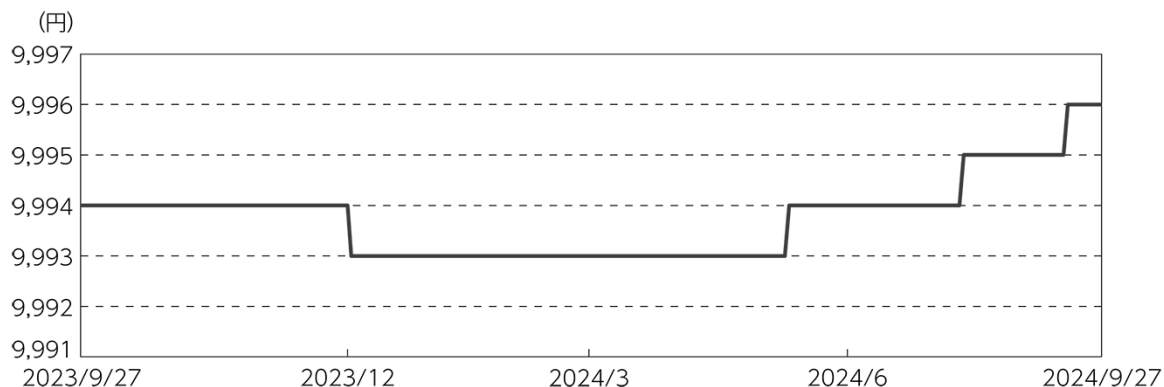
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2023年9月27日	円 9,994		% —	% 98.0	% —	% —
9月末	9,994	0.0		98.0	—	—
10月末	9,994	0.0		81.1	—	—
11月末	9,994	0.0		83.3	—	—
12月末	9,994	0.0		90.4	—	—
2024年1月末	9,993	△0.0		78.6	—	—
2月末	9,993	△0.0		63.2	—	—
3月末	9,993	△0.0		73.7	—	—
4月末	9,993	△0.0		89.9	—	—
5月末	9,993	△0.0		85.0	—	—
6月末	9,994	0.0		84.0	—	—
7月末	9,994	0.0		84.0	—	—
8月末	9,995	0.0		84.0	—	—
(期 末) 2024年9月27日	9,996	0.0		84.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年9月28日～2024年9月27日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・安定的な利息収入がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策期間中、主要投資対象である公社債および短期金融商品がマイナス利回りとなったことが、マイナスに影響しました。

投資環境

(2023年9月28日～2024年9月27日)

短期金融市場では、2024年1月の日銀金融政策決定会合後の植田日銀総裁の記者会見を受け、日銀がマイナス金利政策の解除に前向きとの見方が強まったことから、1年国債利回りは上昇する展開となりました。その後、3月の金融政策決定会合においてマイナス金利政策を解除し、7月の金融政策決定会合では追加利上げが決定されるなど、日銀が金融政策の正常化を着実に進めるなか、1年国債利回りは0.2%前半まで上昇して期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年9月28日～2024年9月27日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年9月28日～2024年9月27日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

今後の運用方針**(投資環境の見通し)**

国内短期金融市場は、今後も金融政策の正常化を着実に進めると予想されることが利回りの上昇要因に働くと見えています。しかし、植田日銀総裁は利上げの判断について時間的な余裕があるとの見方を示していることや、石破新首相による経済政策が不透明なこと、海外の主要中央銀行が利下げ局面入りしていることなどを踏まえると、利回りの上昇ペースは緩やかなものに留まると予想します。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月28日～2024年9月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.001	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、9,993円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月28日～2024年9月27日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国債証券	4,998	—
	特殊債券	129,252	— (78,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月28日～2024年9月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年9月27日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	5,000	4,999	5.1	—	—	—	5.1
	(5,000)	(4,999)	(5.1)	(—)	(—)	(—)	(5.1)
特殊債券 (除く金融債)	77,000	77,058	78.8	—	—	—	78.8
	(77,000)	(77,058)	(78.8)	(—)	(—)	(—)	(78.8)
合 計	82,000	82,057	84.0	—	—	—	84.0
	(82,000)	(82,057)	(84.0)	(—)	(—)	(—)	(84.0)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1195回国庫短期証券	—	5,000	4,999	2024/11/20
小 計		5,000	4,999	
特殊債券(除く金融債)				
第35回政府保証日本政策金融公庫債券	0.45	5,000	5,004	2025/3/14
第4回政府保証新関西国際空港債券	0.484	10,000	10,019	2025/6/13
第26回政府保証株式会社日本政策投資銀行社債	0.466	10,000	10,007	2024/12/12
第227回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.544	5,000	5,000	2024/9/30
第229回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.539	20,000	20,008	2024/10/31
第234回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.466	10,000	10,009	2024/12/27
第236回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.32	5,000	5,004	2025/1/31
第65回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.539	7,000	7,002	2024/10/16
第69回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.414	5,000	5,003	2025/2/17
小 計		77,000	77,058	
合 計		82,000	82,057	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年9月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	82,057	76.2
コール・ローン等、その他	25,692	23.8
投資信託財産総額	107,749	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月27日現在)

○損益の状況 (2023年9月28日～2024年9月27日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	107,749,373
コール・ローン等	25,611,839
公社債(評価額)	82,057,744
未収利息	70,616
前払費用	9,174
(B) 負債	10,019,000
未払金	10,019,000
(C) 純資産総額(A－B)	97,730,373
元本	97,769,950
次期繰越損益金	△ 39,577
(D) 受益権総口数	97,769,950口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,996円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は39,577円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9996円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は26,603,572円、期中追加設定元本額は73,567,912円、期中一部解約元本額は2,401,534円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国好配当リバランスオープン（年4回決算型）	54,636,287円
黒ミフィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(英語ハッジなし)(愛称 ザ・ディスカバー)	22,703,413円
米国好配当リバランスオープン（資産成長型）	16,429,872円
黒ミフィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(英語ハッジあり)(愛称 ザ・ディスカバー)	4,000,378円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	271,782
受取利息	272,849
支払利息	△ 1,067
(B) 有価証券売買損益	△248,750
売買益	3,200
売買損	△251,950
(C) その他費用等	△ 366
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	22,666
(E) 前期繰越損益金	△ 14,865
(F) 追加信託差損益金	△ 48,912
(G) 解約差損益金	1,534
(H) 計(D＋E＋F＋G)	△ 39,577
次期繰越損益金(H)	△ 39,577

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

2024年1月から開始されるNISA成長投資枠への対応を目的として、デリバティブ取引に係る利用目的の明確化に関する投資信託約款の変更を行いました。
(実施日：2023年12月23日)